



ひがしっ子

高鍋東小学校「学校だより」令和7年11月25日（火） 文責：校長 黒木修志

明倫四徳
仁・義・礼・智

人形祭りでのオペレッタ

11月14日（金）の参観日、1年生は体育館で「人形祭り」を行いました。高鍋東小にとって伝統のある行事で、今年も東小にある「青い目の人形」の歴史を「オペレッタ」で表現しました。オペレッタとは、セリフと歌、踊りを組み合わせた音楽劇のことです。歴史のことなので、少し難しいところもありますが、1年生はしっかりセリフを覚え、歌と踊りで上手に表現してくれました。

オペレッタの前には、東小のALTであるページ先生をはじめ、3名の国際交流員の先生方が来てくださって、楽しいクイズを交えながらアメリカやオーストラリア、韓国の紹介をしてくださいました。とてもすてきな「人形祭り」となりました。下の写真は、その時の様子です。ご参観いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。



「青い目の人形」について

高鍋東小の職員玄関には、青い目の人形が飾られています。「青い目の人形」について、昨年度と近い内容にはなりますが、校長室に残っている資料を見ながら、改めて書きたいと思います。

青い目の人形の名前は、「メアリー」といいます。メアリーちゃんは昭和2年（1927年）に学校に来ました。メアリーという名前の由来は、明倫堂の「明倫」と亜米利加（アメリカ）の「亜」を組み合わせたもので、漢字で書くと「明亜倫」となるそうです。

メアリーちゃんが東小にいる理由は、次の通りです。アメリカのシドニー・ギューリック博士が1920年頃、険悪化し始めていた日米関係を憂い、将来の平和のためには、日本とアメリカの子どもたちの友好・親善の心を植え付けなければならないと考え、世界児童親善委員会を設置しました。この委員会から、昭和2年にアメリカ人形がたくさん日本に送られて来たそうです。宮崎県にも130体の人形が届き、そのうち1体が東小にも届けられたというわけです。130体あった人形は、ほとんどが戦争の時に処分され、宮崎県で残っているのは、東小だけということです。つまり、東小に残っているこのメアリーちゃんはとても貴重な1体ということになります。だから、「二度と戦争はしてはいけないこと」や「世界中の人たちと仲良くすること」（「平和の尊さ」や「国際親善」）の願いがメアリーちゃんには込められています。

毎年11月に行われる「人形まつり」は、高鍋東小の子どもたちにとって、世界のことを知り、世界中の人たちと仲よくすることの大切さを学ぶ、とてもよい機会になっています。昭和55年（1980年）から45年間続いている大切な行事です。



高鍋町木城町小中学校音楽祭

4年生



5年生



前回の学校だよりで音楽集会の様子をお届けしましたが、今回は、11月11日（火）に、たかしんホールで行われた小中学校音楽祭本番の様子です。4年生は「もののけ姫」の合唱、5年生は「名探偵コナンのメインテーマ」の合奏をしました。迫力のあるすてきな演奏で、素晴らしかったです。当日は、たくさんの保護者の方々にも応援に来ていただきました。ありがとうございました。



学校からのお知らせ

高鍋東小ホームページ <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1527/>



体育館から第1棟前のアスファルト工事のお知らせ

これまで体育館前の水たまりでは、車の通行時にご不便をおかけしてきましたが、このたび予算が整い、体育館から第1棟前、第4棟付近までのアスファルト舗装に向けて準備が進んでいます。工事が完了すれば、雨の日でも安全に安心して通行していただけるようになります。

現在、工事の具体的な日程については調整中です。決まり次第、改めてお知らせいたします。工事期間中は通行止めとなり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、子どもたちの安全と環境改善のため、あたたかいご理解とご協力をお願いいたします。